

リサーチプログラム



調査期間は 2021 年 11 月から
2022 年 1 月まで



世界 117 か国の
クオリティプロフェッショナルが参加



クオリティプロフェッショナルによる
3 回のオンラインフォーカス
グループを開催

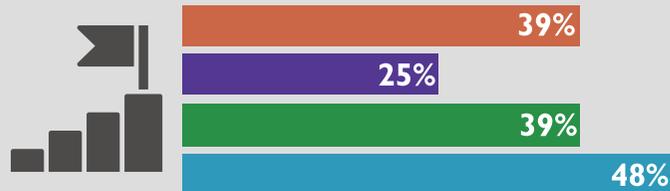


クオリティプロフェッショナル及び
ステークホルダーへの 15 回の
インデプスインタビュー

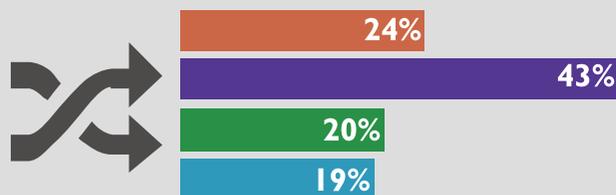
クオリティプロフェッショナルになる

年齢別の入職経路

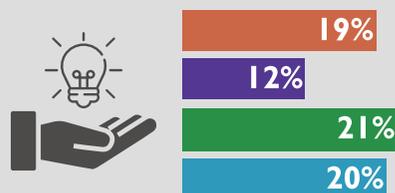
■ 全回答者 ■ 16-34 ■ 35-54 ■ 55+



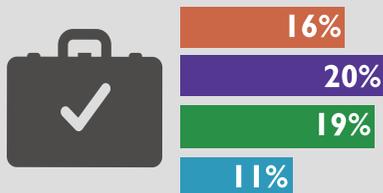
私の仕事の一部分が品質として発展した



別の仕事や分野で働いた後に、自分のキャリアとして選択した

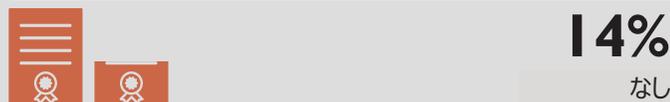
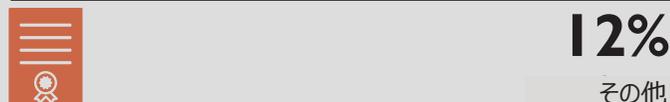


偶然の品質に関わるようになった



社会人になるときに選んだキャリアである

入職時の取得資格



定性的フィードバック

社会人生活のスタート時に品質を選択する人の比率を
高める余地がある

"[品質は] エントリールートが多いため、最初のキャリア選択肢
になり得る可能性があります。これまでは最初の選択肢ではなく、
2 番目のキャリアになる傾向がありましたが、今は、若い人たちに
この職業に就いてもらうことを重視しています。"

コーポレートパートナー社員 & SIG メンバー、防衛

クオリティのプロファイルを上げることで、より多くの人がこの
職務に就くようになるだろう

"クオリティプロフェッショナルは、企業の成功、企業の収益、同
僚の収入に貢献しているのです。クオリティプロフェッショナルのイ
メージを向上させる方法があれば、それがこの職務にリクルートす
るための最も生産的な方法だと思います。"

フォーカスグループ参加者、IRCA メンバー

キャリアアップと能力開発

スキルの開発

今後 24 ヶ月間に習得したいと思うスキルや知識



33%
自分の分野や専門領域に関する技術的な理解を深める



33%
リーダーシップスキル



30%
リスクマネジメント



24%
改善のスキル



23%
自分の所属する部門または分野における運用のベストプラクティス



22%
保証のスキル



22%
持続可能性

次のキャリアステージ



57%
クオリティの職務に留まる



20%
他の職務や分野に移る



13%
退職する



6%
わからない

3% が「他のことをする予定」と回答

定性的フィードバック

クオリティプロフェッショナルは、企業や組織全体にわたって幅広い知識と経験を身につけることができるため、クオリティのみならずそれ以外でも、複数の役割や部門で働くことができる

"クオリティはよりクロスファンクショナルになっています...あるセクターの品質マネジャーになっても、それはずっとそのセクターに留まるという意味ではありません。"

フォーカスグループ参加者、CQI & IRCA メンバー

"品質マネジメントは、企業の全体像を把握し、ビジネスマネジメントについて深い理解を与えます。財務や人事のリーダーなど、スペシャリストとして活躍できる可能性があります。本当によく理解しているからこそ、です。"

コーポレートパートナー社員 & SIG メンバー、運輸

キャリアアップを阻む共通の壁



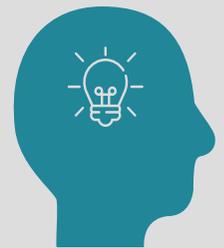
機会がない



業界経験の重要性の認識



サポートと能力開発が不十分



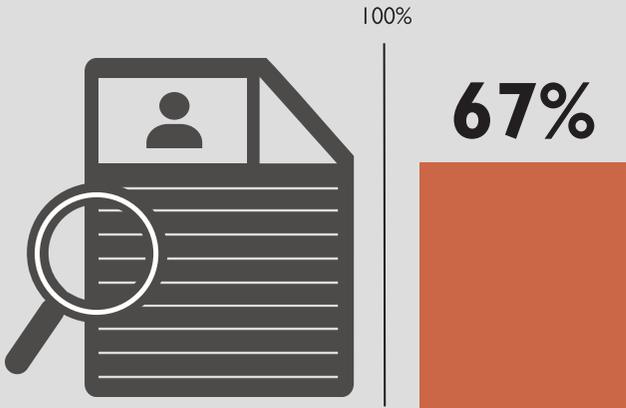
品質に対する理解や真価の認識が不足している

"キャリアアップは多くの組織で非常に困難です...どのような事業であれ、品質マネジメント部門以外への異動を考えていない場合、他の人が異動するまで上に行くのは非常に困難です...したがって、もしあなたが野心的なら、どこか他の部署に行くのが最善の方法です。"

コーポレートパートナー社員 & SIG メンバー、運輸

採用とスキルギャップ

力量あるスタッフを採用する



3分の2の組織が、過去2年間に品質や監査の職務に十分な力量を持った人材を確保するのに苦労したと回答している

定性的フィードバック

業界での経験の重要性については、さまざまな意見がある



"企業に新しい人材を採用する場合、私にとって最も重要なのは業界経験です。鉄の鑄造に詳しい人でも、自動車工場ではあまり役に立ちません。防衛のようなものから航空に移っていく場合も同じでしょう。業界自体の違いが大きすぎますね。業界での経験は、私にとって最も重要なものです。"

フォーカスグループ参加者、CQI & IRCA メンバー

"業界での経験は役に立ちますが、重要ではありません。多くの組織にとって最も重要なのは、社内の対人関係スキルとリーダーシップです。クオリティとは、行動に影響を与え、変化させ、あるいは維持することです。業界の知識は、実務に長けている人なら身につけられます。"

コーポレートパートナー社員 & SIG メンバー、運輸



対人関係スキルとリーダーシップは非常に重要であると広く認識されている

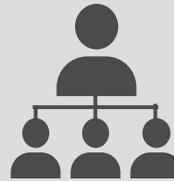
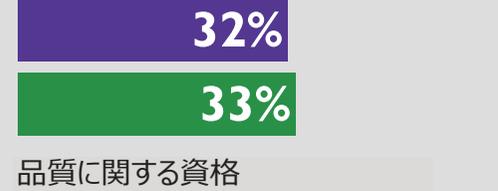
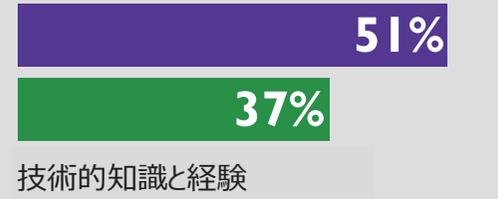
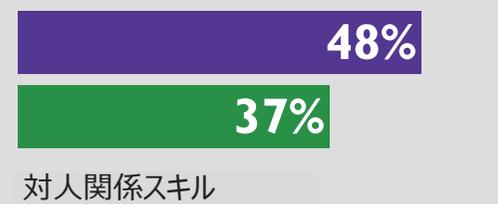
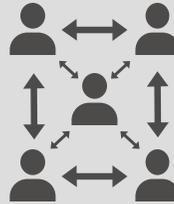
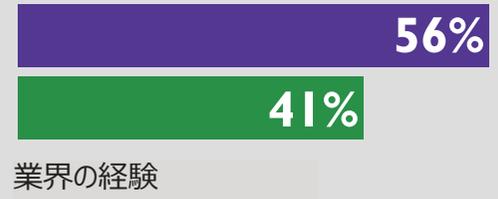
"対人関係スキルは、時に知識以上に重要です。敵のように見られているわけですから、信頼されるようなやりとりができないと、大変なことになりますよ。"

SIG メンバー、原子力

採用時に重視する特質と不足している特質

■ 重視する特質

■ しばしば不足している特質

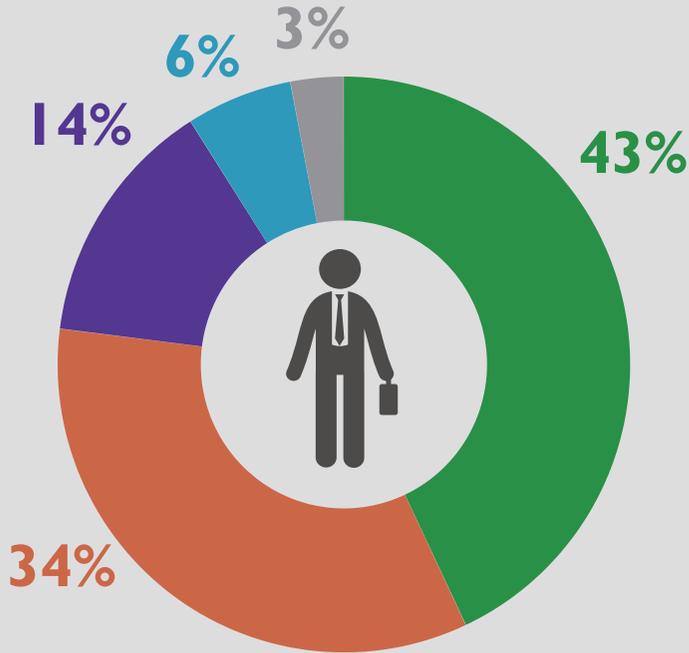


品質マネジメントに対する意識

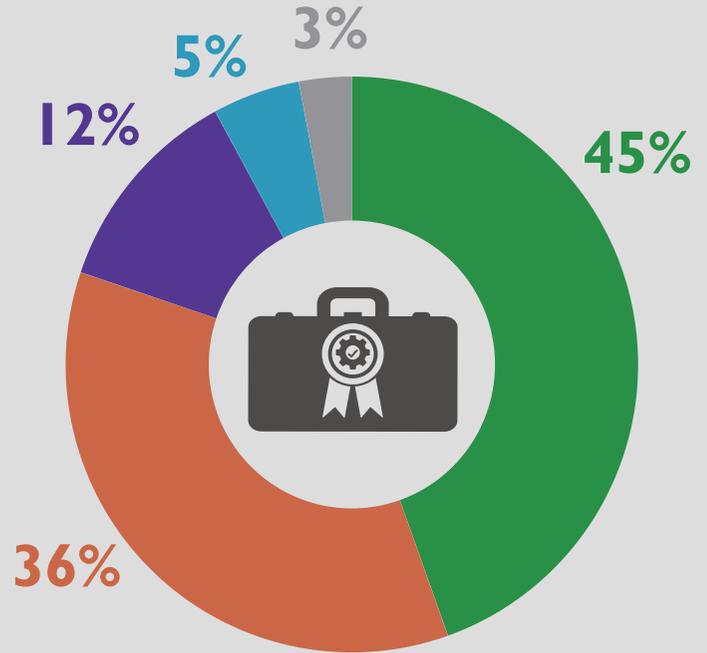
雇用主はクオリティの価値をどのように認識しているか

■ 非常に重視
 ■ 幾分重視している
 ■ ほとんど / まったく重視していない
 ■ そのときどきで異なる
 ■ わからない

あなたの雇用主は、**クオリティプロフェッショナル**としてのあなたにどの程度重きを置いていると思いますか？



あなたの雇用主は、**品質マネジメント全般**にどの程度重きを置いていると感じていますか？



定性的フィードバック

クオリティに対する認識は向上している

"何年もかけてゆっくりと、しかし確実に、クオリティは尊重されるようになり、クオリティに携わる人々は価値を高めています。私は、クオリティがついに「最後に付け足す」だけのものではなく、今やマネジメントチームの一部となり、重要な役割を担っていると見ています。"

フォーカスグループ参加者、IRCA メンバー

"他の産業がクオリティをより重視するようになり、高齢のマネージャーが定年退職などにより自然と退場し、新しく加わってくるより若い世代がクオリティに対するより高い意識、より高い価値観をもって、クオリティが実際に何をもたらすのかについて理解するにつれ、クオリティの価値は高まるでしょう。"

フォーカスグループ参加者、CQI メンバー

価値があると見るかどうかは業界や組織により異なる

"製造業のような組織では、クオリティが非常に重要な要素であることは間違いないでしょう。しかし、商業部門や財務部門は、品質はコストであり、製品を市場に出す妨げになると考えるかもしれません。どの部署と話をするかで変わってきますね"

フォーカスグループ参加者、CQI メンバー

価値の低さは、クオリティに対する認識や理解の低さと結びついている

"クオリティを価値を与えるものとしてではなく、必要悪と捉えているのです。どうすれば、人々の考えを変えることができるのか。クオリティを第一に考えれば、他のものはすべて後からついてきます。安全も、時間も、コストもついてきます。そして、この3つが、誰もが追跡する4大KPIの残りのものなのです。"

コーポレートパートナー社員 & SIG メンバー
建設 / エンジニアリング